



発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 石川 亨
編集責任者: 村上 良智

2021年 笑顔で帰ろう!

新春のお慶びを申し上げます。また、日々現場作業に従事する皆様方におかれましては厳しい作業環境の中、現場第一線における安全の確保にご尽力頂いておりますことに、心から敬意を表します。

昨年は全国的に人身事故の連鎖が止まらず、その多くは過去に発生した同種の事故も見受けられ、いずれの事故においても作業員自身の近道行動や作業手順の誤り、不安全行動が起因するものとなっており、東北管内においても残念ながら伐木作業中、切断した木に作業員が巻き込まれ死亡するという重大人身事故が発生しております。

インフラ東北としても、改めて「安全確保は企業存続の最低条件」であることを肝に命じ、引き続きカウンターパートナーとしての労働組合としての役割を積極的に果たし、職場並びに現場作業における安全労働確保に向け、各種取り組みを展開していくこととします。皆様におかれましても安全労働確立に向けた取り組みへの積極的な参加をお願いします。

また、本機関紙「きらめき」も皆さんに読みやすい・読みたくなる紙面をめざすとともに、常日頃からさまざまな危険と隣り合わせで作業されている方々に対し、少しでも安全意識の高揚に繋がるよう内容充実に努めていきたいと思っております。

今年一年、皆様の職場からは事故を発生させないよう、引き続き安全労働確立に向けた各種取り組みにご協力をよろしくお願いいたします。

通建連合 『労働安全衛生強化期間』

期 間: 2021年1月18日~2月26日

通建連合ならびに加盟労組においては、安全労働を運動の重要な柱と位置付け、安全衛生委員会や各種安全会議等の場において、各種安全施策の展開実施に対する議論を行うとともに、労働組合独自の労働安全衛生の確立に向けた取り組みを展開してきました。

そのような中、全国的に人身事故が連続発生し、転倒・転落等死事故にも繋がりにくい重傷事故は依然として発生しております。また、過去に発生した類似した事故も散見され、作業員自身の近道行動や不安全行動に起因するものもあり、改めて現場第一線における安全意識の向上と事故を発生させない安全風土の醸成が、労働災害撲滅に向けた取り組みに極めて重要と判断し、職場環境の確保をめざすことを目的に「労働安全衛生強化期間」を設定し、安全グッズ等を配布しながら安全労働に向けた注意喚起を行うとともに、健康管理等についても呼び掛けを行う等、加盟労組夫々が工夫した取り組みを展開することとしております。

インフラ東北としても、通建連合の取り組み趣旨を踏まえ、各職場における各種会議ならびに朝礼等に参加し、現場第一線の作業員の方々に対し注意喚起を実施するとともに、対話を重視した安全パトロールを展開し、一人ひとりの安全意識高揚に向けた啓蒙活動を実施していくこととします。

期間内における労使合同パトロールについては、現場の皆様の声をお聞きいただきながら、今後の安全労働確立に向けた取り組みに繋げていきたいと考えますのでご協力をお願いします。



通建連合一斉安全休工日実施結果について

今年度における「通建連合一斉安全休工日」の取り組みについては、各職場における安全衛生委員会等の場での協力要請は勿論のこと、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

今年度における実施結果は、下表のとおりとなります。

インフラ東北としては、現場第一線で働く労働者の負担が一段と高まっている中で、今年度の実施結果の課題等の分析を行いつつ、課題の克服に向け積極的に議論を行っていくこととします。

今後も一人でも多くの方に参加頂き、休むことにより心身共にリフレッシュを図り安全労働に繋げるとの観点で、取り組みを継続していきたいと考えますのでご協力をお願いします。

◆TTKグループ◆

業務区分割合		2020.6	2020.7	2020.9	2020.11
	休工対象数	124	122	122	122
	実施(第2土曜日)	90(72.6%)	93(76.2%)	84(68.9%)	87(71.3%)
	読替実施(当月内土曜日)	29(23.4%)	28(23.0%)	31(25.4%)	22(18.0%)
	未実施	5(4.0%)	1(0.8%)	7(5.7%)	13(10.7%)
	実施結果(読替含む)	96.0%	99.2%	94.3%	89.3%

人員割合		2020.6	2020.7	2020.9	2020.11
	休工対象数	2270	2282	2287	2242
	実施(第2土曜日)	2084(91.8%)	2110(92.5%)	1985(86.8%)	2051(91.5%)
	読替実施(当月内土曜日)	155(6.8%)	167(7.3%)	280(12.2%)	134(6.0%)
	未実施	31(1.4%)	5(0.2%)	22(1.0%)	57(2.8%)
	実施結果(読替含む)	98.6%	99.8%	99.0%	97.5%

◆大和電設グループ◆

業務区分割合		2020.6	2020.7	2020.9	2020.11
	休工対象数	56	56	56	56
	実施(第2土曜日)	20(35.7%)	23(41.1%)	21(37.5%)	22(39.3%)
	読替実施(当月内土曜日)	33(58.9%)	27(48.2%)	29(51.8%)	31(55.4%)
	未実施	3(5.4%)	6(10.7%)	6(10.7%)	3(5.4%)
	実施結果(読替含む)	94.6%	89.3%	89.3%	94.7%

人員割合		2020.6	2020.7	2020.9	2020.11
	休工対象数	1234	1221	1196	1202
	実施(第2土曜日)	1024(83.0%)	999(81.8%)	991(82.9%)	1028(85.5%)
	読替実施(当月内土曜日)	191(15.1%)	196(16.1%)	160(13.4%)	159(13.2%)
	未実施	19(1.5%)	26(2.1%)	45(3.8%)	15(1.2%)
	実施結果(読替含む)	98.1%	97.9%	96.3%	98.7%